

## 上半期の取組に対する自己評価

平成23年11月30日

公正取引委員会予算監視・効率化チーム

### 1. 予算執行計画の各取組に対する自己評価

#### (1) 支出負担行為に関する計画の進捗把握・管理

支出負担行為に関する計画の対象経費のうち、職員旅費及び庁費はいずれも遂行率が7割強であり、おおむね順調に計画が遂行されている。

経済実態等調査費は遂行率が5割弱で、計画の遂行が低調であった。これは、一部の業務について、計画に対する執行の遅れがみられたことが原因であった。

#### (2) 予算執行上の重要な決定についての事前審査

上半期において予定が明らかであった重要な調達6件（事後報告5件を含む。）全てを審査し、問題はないものと判断された。

#### (3) 行政事業レビュー

対象となる全11事業について、公正取引委員会予算監視・効率化チームによる検証作業を実施して5事業を「廃止」、6事業を「現状通り」とすることとし、これを平成24年度予算概算要求に適切に反映させた。

#### (4) 予算執行に関する国民の声の受付

ホームページ上に、「予算執行・事業に関する御意見箱」を設け、ホームページのトップページにて周知を行ったが、国民からの意見の提出はなかった。

#### (5) 予算執行の効率化等に向けた職員の参画、意識向上

予算執行に関わる担当者の打合せ会議において、繰り返し、効率的な予算執行を促しており、意識の浸透がみられる。

また、職員の声を募集するための専用メールアドレスを設け、定期的に周知した。加えて、職員研修のカリキュラムに「予算執行の効率化」を盛り込み、職員の意識向上に努めた。引き続き、職員の参画・意識向上に努める。

#### (6) 予算執行に関する情報開示の充実

平成23年8月25日に第1四半期分（4～6月）の情報について公表した。

平成23年11月30日に第2四半期分（7～9月）の情報について公表した。

### 2. 予算監視・効率化の取組全体に対する自己評価

行政事業レビューについては、昨年度の取組による事業の見直し結果を維持し、これを平成24年度概算要求に適切に反映させたところである。

支出負担行為に関する計画については、おおむね順調に遂行されているが、一部の業務について、計画に対する執行の遅れがみられたことから、今後、計画の進捗管理に一層努める。